

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 9 月 29 日 (2005.9.29)

【公開番号】特開 2003-325475 (P2003-325475A)
 【公開日】平成 15 年 11 月 18 日 (2003.11.18)
 【出願番号】特願 2002-141323 (P2002-141323)
 【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 B 5/055
 A 6 1 M 25/00
 G 0 1 R 33/28
 G 0 1 R 33/34

【F I】

A 6 1 B 5/05 3 9 0
 A 6 1 M 25/00 3 1 2
 A 6 1 M 25/00 4 0 5 B
 A 6 1 B 5/05 3 5 5
 G 0 1 N 24/04 5 2 0 A
 G 0 1 N 24/02 Y

【手続補正書】
 【提出日】平成 17 年 5 月 11 日 (2005.5.11)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

カテテルと、前記カテテル内に、互いに電氣的に非接続状態で且つ相互結合が実質的にない状態で配置された複数のアンテナと、複数のアンテナをそれぞれ別個の信号検出回路に接続する複数の信号線とを備え、前記複数のアンテナはそれぞれ異なる空間からの信号を検出することを特徴とするカテテル R F アンテナ。

【請求項 2】

前記複数のアンテナは、前記カテテルの長手方向に対しずれた位置に配置されていることを特徴とする請求項 1 記載のカテテル R F アンテナ。

【請求項 3】

前記複数のアンテナは、前記カテテルの長手方向のほぼ同一位置に R F シールド部材を介して並列に配置されていることを特徴とする請求項 1 記載のカテテル R F アンテナ。

【請求項 4】

前記カテテルは、長手方向に沿って複数の空洞を有するチューブからなり、前記空洞内に前記アンテナ及びそれに接続された信号線が収納されていることを特徴とする請求項 1 ないし 3 のいずれか 1 項記載のカテテル R F アンテナ。

【請求項 5】

前記カテテルは、長手方向に沿って複数の空洞を有するチューブからなり、前記複数の空洞のうちの 1 の空洞内に前記複数のアンテナ及びそれに接続された信号線が収納されていることを特徴とする請求項 4 記載のカテテル R F アンテナ。

【請求項 6】

前記カテテルは、長手方向に沿って複数の空洞を有するチューブからなり、前記複数の

のアンテナ及びそれに接続された信号線はそれぞれ前記複数の空洞のうち異なる空洞に収納されていることを特徴とする請求項 4 記載のカテテル R F アンテナ。

【請求項 7】

前記複数のアンテナ間の電氣的相互結合を除去するためのデカップリング手段を備えたことを特徴とする請求項 1 ないし 6 いずれか 1 項記載のカテテル R F アンテナ。

【請求項 8】

前記デカップリング手段がインダクティグカップラー法に基く回路であることを特徴とする請求項 7 記載のカテテル R F アンテナ。

【請求項 9】

前記デカップリング手段が低インピーダンス法に基く回路であることを特徴とする請求項 7 記載のカテテル R F アンテナ。

【請求項 10】

前記複数のアンテナは、ダイポールアンテナであることを特徴とする請求項 1 ないし 9 いずれか 1 項記載のカテテル R F アンテナ。